

地域の介護、全力で応援します！

おせっかいご

@一筋運輸

事業概要

有限会社一筋運輸
〒410-0249 静岡県浜州市利右衛門1049-4
054-622-5576(代表)
1981年10月創立(42年目)
資本金750万円
年商4億5000万円(2020年)
代表 松村 英雄
担当 蛭田 浩二(ひるた)

事業理念!

人と人とのところをつなぎ、誰もが地域の中で、安心して笑顔で暮らしていける共生社会の実現に「おせっかい」

① 地域密着活動

🌱 ひきこもりのひとをなくしたい

ご高齢者様と企業さまをつなげる活動

地域包括支援センターさま

おせっかいご @一筋運輸

・引きこもりがちの方々
・「生きにくさ」をお持ちの方々など集める

社会貢献ができる場の提供が可能な企業さまの発掘

・社会に出られるきっかけ
・自身が役に立っていると感じる

介護・福祉に関する諸活動

- ・介護に関する入門的研修基礎講座の受講
- ・認知症サポーター養成講座の受講
- ・地域の催しへの参加
- ・志太地区オレンジネットカフェへの参加
- ・チームオレンジ養成講座への参加
- ・その他見識や交流の為の諸講座、会合など様々な活動への参加 etc...

② サイト運営

🌸 介護で困るひとをなくしたい / 🧡 介護離職でこまるひとをなくしたい

介護情報サイト
~介護でお困りの方とフロを繋ぐ

連携

求人情報サイト
~介護で働けなかった方・一般の求職者

ひととひとのつなぐ、誰もが地域の中で安心して笑顔で暮らしていける共生社会の実現に「おせっかい」します

地域のための、地域に根ざしたインターネット上のサイト運営

③ 広報活動

🏠 思いをたくさんのひとに届けたい

X(Twitter)

Instagram



おせっかいご@一筋運輸
@osekkaigo

等何でもやります、やっちゃいます！ 慢性化した少子高齢化問題や、介護福祉業界を軸に、みなさんで、ひとにうれしさを届けていきます(´▽`)

2021年6月からTwitterを利用しています

11,072 フォロワー 11,390 フォロワー

おせっかいご一筋運輸 何でもやります、やっちゃいます！ 少子高齢化問題や喫緊の課題だけの介護 福祉を軸に、みなさんと明るく過ごせる未来に向け、誠意を込めて活動していきます

twitter.com/osekkaigo

MCは経度？ フレイルなココロ？ なんだから難しいの？ なんて、どうすればいいの？

センターの役割 アドバイス・ケアマネジメント

安心して暮らしていただくために

必要なのは家庭に必要なのは家庭に必要なのは家庭に

おせっかいご事業における情報発信 地域のアピールや介護事業所の宣伝なども

& フレスリース等による新聞への情報掲載などの活動のPRを行い、地域への貢献・活性化に努める

おせっかいご @一筋運輸 Why were you born? 生い立ち!



ここだけのお話です

0. 運送業界の変遷(参考)

①言い値の時代	• かつて運送業は、雲助よろしく仕事の内容も運送費用も彼らの掌にあり、言い値だった。
↓	
②「営業」の誕生	• しかし運送業の中で「営業」する役割が生まれ、運転手ではない営業マンが法人と交渉、運転手は運送に専念する分業制になった。
↓	
③シェア争いの激化	• 「営業」により運送業と法人との取引が活発化、発展した一方、相見積など運送業の中でサービス・価格競争が激しくなっていた
↓	
④据え置き時代へ	• そしてネット時代の今日、ネット販売会社間の競争の中「送料無料」など輸送費が低く抑え込まれている状態になった。
↓	
⑤淘汰、統廃合	• 運送業を営む小さい企業は、経営悪化による廃業や、他の企業に吸収され、力のある企業がより大きくなることで、経営安定を図る傾向にある。

1. 運送業生まれの「おせっかいご」(2018年頃～生い立ち)

①人材不足で苦戦	• いま運送業界の求人は、なり手不足、高齢化と、慢性的なドライバー人材不足にあり、好条件を出せる大手企業が優先して求職者を集めている。
↓	
↓	• 中小企業の運送会社である当社も、求人募集してもなかなか人材が集まらず、常に苦戦している状況にあった。
↓	
②忍び寄る「介護」の影	• そのような中、自社のドライバーが、親の介護、自身が故障・介護が必要になり、辞職したい、業務時間を短縮したいという相談が持ち上がった。
↓	
↓	• 介護について調べた結果、世の中では介護離職という現象があり、離職したことにより経済的にひっばくし、困っている人が増えているとのことだった。
↓	
③助力出来ないか	• では、介護が必要な人を施設(プロ)に預け、空いた時間で再就職等就業出来る仕組みがあれば良いではないか。
↓	
④人材不足…解消!?	• その仕組みを誰かが作れば、当社もその方々が再就職先として選んでくれるのではないかと当社のような中小企業の人材不足も、この仕組みがあれば解消できるのではないかと?
↓	
⑤行政では…難しい…	• 当社ではその仕組みは作り得ないので、行政に伺ったが「過去の事例がない」と焼津市～ハローワークとたらい回しになった。
↓	
⑥ならば、自分で!	• 介護業界での物事について行政に相談することは難しいことがわかり、当社が自ら仕組みを作ろうという思いに至った。
↓	
⑦やるならこうする!	• 当社のような中小企業では人員増による事業化は難しいので、プラットフォームビジネス、マッチングサイトを手掛けることにした。
↓	
⑧2つのサイト運営	• 一つは、養護者や介護が必要な人、つまり介護に困っている人と、介護のプロを、担当者などを介さず直接つなげる「介護マッチングサイト」。
↓	
↓	• もう一つは、介護から解放された人が新たに再就職先を探せる「求人サイト」。
↓	
↓	また、このサイトは介護で困る人だけではなく、一般の方々も利用できる。

2. 地域密着の「おせっかいご」(現在進行中)

①素人の知識獲得活動	• 地域の皆様に役立つ2サイトを構築し運営していくにしても、介護業界において当社は素人。なのでセミナーや研修などを通じ、業界内外の人脈を育む活動をしていくことにした。
↓	
②業界の仕組み	• 調査・活動を通じわかったことは、介護業界は地域包括ケアシステムという仕組みにおける市区町村での枠組み・テリトリーがあること。
↓	
↓	• また社会福祉法人、医療法人、一般法人、行政と社協や様々なボランティア活動などの団体や個人が、網のように密につながっていることが分かった。
↓	
↓	• 反面、介護に関りが無い人にとって、介護業界はほぼ知られていないことだらけだった。
③地域の「人」と	• 当社は介護業界への一助をたく、同時に明日は我が身と思い、地域密着活動としてより多く、より様々な人と密接に絡み、ボーダーレスな共生社会を目指したいと思っている。
↓	
↓	• 同時並行して、介護に困っている人と、介護のプロ・介護関連法人、ならびに求人を出したい介護関連法人および一般法人に、サイトへの募集を行っている。
↓	
④素人な法人だから	• 素人であるが故、全くの異業種なので、業界のしがらみに囚われずに「考えられること、出来ること」を積極的に行っていけると強く信じている。
↓	
↓	• だから「ひとにうれしい『おせっかいご』」をしたく、当社の事業を「おせっかいご」と命名。
⑤現在の主な活動	• 現在は最寄りの地域包括支援センターさまを通じ、地域の方々への介護予防について助力したく、法人さまにご協力いただき、活動をしたい方々への「場の提供」を推進している。